

障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和6年度分)
(施設等に対する導入支援分) 所要見込額調査

【基本情報】

Table with 2 columns: Field (e.g., フリガナ, 法人名, 事業所名) and Value (e.g., トコヤキ, 社会福祉法人なごや会, 名古屋ハウス).

【申請に当たっての補償事項】 ※4つの事項について記載内容を確認し、チェックすること。

- ☑ 導入経費の算定に当たっては、複数の業者から見積書を徴している。
☑ ロボット等導入によって得られた生産性向上による業務効率化及び職員の業務負担軽減により超過勤務手当等の経費に金銭的剰余が出た場合には、当該費用を利用者が受ける障害福祉サービスの質の向上や職員の資金改善に資する取組に適切に使用するとともに、その旨を職員等に周知する。
☑ 名古屋市からの求めがあった場合は、ロボット等導入の効果分析や事例の公表等に対応する。
☑ 「福祉・介護職員処遇改善加算」を算定しているか、あるいは交付申請後おむね3ヶ月以内に取得見込みである。

1. 経費計画

Financial planning form with input fields for (1) 補助対象経費の実支出(予定)額: 1,000,000円, (2) 補助基本額: 1,000,000円, (3) 補助協賛額: 750,000円.

Field for 機器の特徴: (機能の説明と、有効性を記入して下さい。)

2. 事業計画

Project plan form with checkboxes for 導入に対する補助があるため and 目的 (e.g., ケアの質の向上, 職員の精神的・肉体的負担軽減).

Field for (2) 事業所が抱える課題: (導入により改善が期待される課題を記入ください。)

Field for (3) ロボット機器等導入する業務内容(概要): (課題に対してロボットを導入する業務内容をできるだけ具体的に記入ください。)

(4) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入により想定される定量的指標

Table for current business hours (前記2(3)に係る現在(ロボット機器等導入前)の業務時間内訳) with columns for business content, staff count, and occurrence count.

Table for estimated business hours after introduction (前記2(3)に係る想定業務時間内訳) with columns for business content, staff count, and occurrence count.

※1 入肥起床支援、利用者とのコミュニケーション、新入の把握、日常生活の支援
※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等
年間業務時間数想定削減率(%) #DIV/0!

Field for (5) 想定削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。